

いし の まき

No.
57

議会だより

平成30年8月13日発行

第2回定例会	2
各常任委員会審査報告	4
19人が一般質問で市政を問う	7
第1回臨時会	15
平成29年度政務活動費執行状況	17

桜坂高等学校 議場見学の様子



第2回
定例会条例や補正予算など
40件を可決・同意等

平成30年第2回定例会は、6月14日から29日までの16日間の日程で開催されました。今定例会では、条例や補正予算など市長提案案40件が提出されました。審議の結果、提出議案はすべて原案のとおり可決・同意等されました。

第2回定例会に提出された
議案と審議結果

予算案を諮る 木村忠良議長

予
算 (原案可決)

- 平成30年度
- 石巻市一般会計補正予算(第3号)(第4号)
- 石巻市下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(第1号)

条
例 (原案可決)

- 石巻市支所設置条例の一部を改正する条例
- 石巻市市税条例の一部を改正する条例
- 石巻市都市計画税条例等の一部を改正する条例
- 石巻市公民館条例の一部を改正する条例
- 石巻市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 石巻市桃生植立山公園条例の一部を改正する条例

そ
の
他 (原案可決)

- 工事委託に関する年度協定の締結について
- (平成30年度における石巻市公共下水道(雨水排水ポンプ場等)施設の災害復旧及び復興事業に係る建設工事委託に関する基本協定の建設工事委託に関する年度実施協定)
- (市道門脇町二・四丁目1号線道路改良事業(仮称)鎮守大橋橋梁整備工事に関する平成30年度協定)
- 財産の取得について
- (トレーニング機器)
- (石巻市宮新西前沼第二復興住宅(新蛇田南D地区))
- (消防ポンプ自動車及び小型動力ポンプ付積載車(石巻地区分及び河南地区分))
- (消防ポンプ自動車及び小型動力ポンプ付積載車(牡鹿地区分))
- (長面漁港海岸保全施設災害復旧事業用地)
- 財産の処分について 2件
- 工事請負の契約締結について
- (仮称)蛇田支所等複合施設建設工事)
- (泊漁港防波堤改良工事)
- (十八成浜漁港海岸保全施設整備(その3)工事)

人
事 (同意・異議がない)

- (大原川さけ人工ふ化場井戸整備工事)
- (防災緑地2号施設整備工事)
- (23年災長渡漁港西防波堤災害復旧工事)
- (災復3809-4号金排水路災害復旧工事)
- (災復3809-5号金排水路災害復旧工事)
- 工事請負契約の一部変更について
- (石巻駅周辺地区津波防災拠点歩行者デッキ新設及び道路改良工事)
- (23年災長面漁港海岸保全施設災害復旧(その1)工事)
- (23年災長面漁港海岸保全施設災害復旧(その3)工事)
- (23年災水浜分浜漁港災害復旧工事)
- (23年災鮫ノ浦漁港災害復旧工事)
- (23年災池ノ浜漁港災害復旧工事)
- 市町の境界変更について
- 境界変更に伴う財産処分の協議について
- 市道路線の認定について
- 市道路線の変更について

- 固定資産評価員を選任するにつき同意を求めることについて
- 片倉昭彦氏を選任することに同意

- 農業委員会委員を任命するにつき同意を求めることについて
- 色川恭子氏・後藤久一氏・伏見晃也氏・高城邦秀氏・狩野利一郎氏・高橋良一氏・今野勝夫氏・遠藤和祥氏・安部秀逸氏・遠藤章一氏・佐々木洋氏・後藤嘉伸氏・三浦孝一氏・大橋邦雄氏・高橋千代恵氏・大森香織氏・三浦豊志氏・佐藤克美氏・佐藤健悦氏を任命することに同意

- 人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて
- ↓
- 浮津由巳氏・田中憲夫氏・阿部悟氏・加藤ひろ子氏を推薦することについて異議がない

第2回定例会で議決した議案の中から

可決された条例の中から



高橋栄一 副議長

◆石巻市支所設置条例の一部を改正する条例

- 東日本大震災に伴い移転が必要となった石巻市萩浜支所について、石巻市萩浜公民館との複合施設として移転新築工事を進めているが、平成30年10月に供用開始の予定となったことから、本条例の一部を改正するもの

◆石巻市桃生植立山公園条例の一部を改正する条例

- 石巻市桃生植立山公園内のゲートボール場及びマレットゴルフ場をパークゴルフ場に改修する工事を進めているが、平成30年9月に供用開始の予定となったことから、本条例の一部を改正するもの

その他の議案から

◆財産の取得について（トレーニング機器）

- 平成30年12月に供用開始予定の（仮称）石巻トレーニングセンターに配置するトレーニング機器を取得することについて、石巻市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの

可決された補正予算の主な中身は

今回の補正予算は、第21回目の「東日本大震災復興交付金」の交付に伴う基金への積立金、「雄勝地区観光施設整備事業」、「南浜津波復興祈念公園整備事業」、「十八成浜砂浜再生事業」に要する経費などについて、所要額を措置したもの

◆総務費では

- ・復興まちづくりマネジメント（政策調整）支援業務委託に要する経費
- ・地域自治システムアドバイザー設置に要する経費
- ・（仮称）大川地区地域交流センター整備に要する経費

◆民生費では

- ・国民年金保険料免除措置等の見直しに伴うシステム改修に要する経費
- ・放課後児童クラブ施設整備事業費

◆衛生費では

- ・一般廃棄物最終処分場建設事業費

◆農林水産業費では

- ・釜幹線水路改修に要する経費
- ・水産加工団地における再生エネルギー活用可能性調査に要する経費

◆商工費では

- ・商店街再生加速化支援事業費補助金
- ・石巻駅前観光案内所設置に要する経費
- ・観光物産交流施設の整備に要する経費

◆土木費では

- ・雄勝中心部地区、鮎川浜地区拠点エリアの整備に要する経費
- ・十八成浜砂浜再生事業に要する経費
- ・南浜津波復興祈念公園整備事業費
- ・防災集団移転促進事業に要する経費

◆教育費では

- ・防災、交通安全、生活安全（防犯）における学校安全教育の推進に要する経費
- ・研修会や他校の視察等により指導方法の改善につなげ、深い学びの実現に向けた授業づくりを推進するための経費
- ・稲井公民館の外壁改修工事に要する経費

◆公債費では

- ・災害援護資金の償還に要する経費
（平成29年10月～平成30年3月までに償還されたもの）

各常任委員会審査報告

6月15日の本会議で、条例や補正予算などの議案が審議され、総務企画、環境教育、保健福祉、産業建設の各常任委員会に付託されました。
各常任委員会で審査されたことの中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介いたします。

総務企画委員会



遠藤宏昭
総務企画委員長

平成30年度石巻市一般会計補正予算(第3号)について

Q 復興まちづくりマネジメント支援業務の内容について伺う。

A 平成32年度までの完成が求められる各種復興事業については、復興庁との協議により、民間

活力を活用しつつ、今後見込まれる道路や橋りに関する復旧工事等の事業推進とマンパワー不足の解消のために工事監督業務等に関する業務を外部に委託するものである。

Q 今後の復興事業の推進について伺う。

A 国、県及び本市の復興事業がますますふくそうすることから、まず、現在の本市単独事業を終わらせ、複数の機関が絡む事業については、現状を把握しながら課題を捉え、関係機関と協議を行い、併せてコンサルタントを最大限活用しながら平成32年度の工事完了を成し遂げていきたい。

Q 地域自治システムアドバイザーを派遣する対象地区及び事業内容について伺う。

A 派遣する対象地区は、既に立ち上げられている3地区である。また、事業内容は、新潟県中越地震の復興支援活動の経験を踏まえたアドバイザーをいただくことで3地区のこれまでの事業実施状況やその後の成果と課題を検証した上で、システムの見直しも視野に入れていくほか、まだ立ち上げられていない13地区へ全体的なアドバイザーをいただく。

環境教育委員会



高橋憲悦
環境教育委員長

石巻市桃生植立山公園条例の一部を改正する条例について

Q パークゴルフ場利用時間の設定基準について伺う。

A 早朝や夕方には芝生の管理などがあるため、河南パークゴルフ場の利用時間を参考に午前8時30分から午後5時までの時間設定とした。

Q 今後の整備方針について伺う。

A 今年度観覧席を300席増設する工事を予定している。
当該公園は、パークゴルフ場もオープンすることで、スポーツ施設としての機能は十分満たされているため、公園としての利便性を向上する休憩施設の設置やトイレの改修など計画を立てながら進めていきたい。

一般廃棄物最終処分場建設事業について

Q 現状について伺う。

A 整備に必要な測量調査等については、順次発注する予定である。

地域住民との合意については、当該地が民有地であるため、まず地権者会と具体的な協議を行い、ある程度方向性が見えた段階で、説明会等を開催し理解を得たい。

Q 地権者数と地代の算定について伺う。

A 計画予定地の筆数は55筆で地権者は36人である。

地代については、不動産鑑定で算定するが、不快施設ということを加味し検討しなければならないと認識している。

学校安全総合支援事業について

Q 内容について伺う。

A 災害安全、交通安全及び生活安全の3領域について、児童生徒が回避する力を身につけるための事業であり、具体的な事業内容は、緊急地震速報受信機の設置とその活用、防犯カメラの設置とその訓練の実施、復興防災マップの作成、セーフティプロモーションスクールの推進、交通安全の推進、そして、幼稚園1園と小学校3校、中学校2校の河北地区の全学校をモデルにした学校安全教育の実施の6点である。

保健福祉委員会



青山久栄
保健福祉委員長

石巻市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

Q 放課後児童クラブごとで指導員の対応に開きが見受けられるが対策について何う。

A 放課後児童クラブの適切な運営に向けて指導員に対する研修の必要性を感じていることから、指導員の資質向上と意識改革に特化した研修や指導員同士の良好な関係を築くための情報交換の場を設けていきたい。

平成30年度石巻市一般会計補正予算(第3号)について

Q 生活保護法改正に伴う保護費減額への影響と保護世帯数の推移について何う。

A 生活保護の基準は級地区分により6段階あるうち、石巻市は下から2番目である。いろいろな世帯構成でシミュレーションした結果、本市では現行基準とほぼ変わらない試算結果が出ている。また、保護世帯数の推移については、震災から1年後の平成24年3月で保護世帯数984世帯、保護人員1347人、保護率8.86パーミルであったが、本年4月では保護世帯数1161世帯、保護人員1500人、保護率10.32パーミルであり、微増している。

産業建設委員会



阿部正敏
産業建設委員長

釜幹線水路改修工事について

Q 工事の内容について何う。

A 門脇三ツ股地内の約110メートルの区間の水路を暗渠化する工事である。

Q 暗渠化した場合の浚渫への対応について何う。

A 全ての区間を暗渠化するので浚渫はなく、マス等を設け、浚渫ができるように対応する。

再生可能エネルギー活用可能性調査業務について

Q 業務の内容について何う。

A 水産加工団地内における公共施設を活用した再生可能エネルギー活用に係る潜在可能性を発掘するための業務であり、太陽光パネル設置に係る費用便益の分析、地域経済への波及効果、メンテナンス経費、耐用年数経過後の撤去費用などの調査を行う。

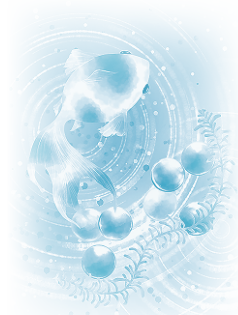
雄勝地区観光物産交流施設について

Q 整備事業の概要について何う。

A 実施設計が6月末に完了、平成31年度中に工事が完了し、オープンを予定している。

Q 管理運営方法、見込みの入り込み客数及びテナント出店予定業者数について何う。

A 管理運営方法は指定管理者制度の活用を予定しており、見込みの入り込み客数は年間10万人、テナント出店予定業者数は12業者である。



第2回定例会 起立採決のあった議案に対する各議員の賛否

議席番号	氏名	第123号議案 財産の取得について (石巻市宮新西前沼第三復興住宅 (新蛇田南D地区))	議席番号	氏名	第123号議案 財産の取得について (石巻市宮新西前沼第三復興住宅 (新蛇田南D地区))
1	佐藤雄一	○	17	阿部正敏	○
2	高橋憲悦	○	18	齋藤澄子	○
3	楯石光弘	○	19	丹野清	○
4	阿部和芳	×	20	安倍太郎	○
5	木村忠良	—	21	森山行輝	○
6	黒須光男	×	22	阿部欽一郎	○
7	奥山浩幸	○	23	渡辺拓朗	○
8	遠藤宏昭	○	24	千葉眞良	○
9	大森秀一	○	25	山口莊一郎	○
10	阿部久一	○	26	青山久栄	○
11	櫻田誠子	○	27	高橋栄一	○
12	鈴木良広	○	28	西條正昭	○
13	青木まりえ	○	29	後藤兼位	○
14	千葉正幸	○	30	水澤富士江	○
15	星雅俊	○		賛成	27
16	阿部浩章	○		反対	2

※ ○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席
 ※ 木村忠良議員は議長であるため採決には加わりません



起立採決の様子（第123号議案 財産の取得について）

第2回定例会に提出された陳情

■日本政府へ「核兵器禁止条約の批准を求める意見書」提出に関する陳情書

（提出者）原水爆禁止国民平和進行宮城県実行委員会 代表委員 青木 正芳

■臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書

（提出者）移植ツーリズムを考える会 理事 井田 敏美

これらの陳情は、全議員へ参考回付しました。

一般質問

議員19人が登壇

市政を問う!

第2回定例会の一般質問は、6月25日、26日、27日、28日、29日の5日間行われました。今回は19人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をただしました。その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは、質問を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

一般質問通告一覧

(※議員名の前に付いている番号は質問順序です。)

①黒須 光男

- 1 新蛇田地区の公募型買取市営住宅における市長の背任罪について
- 2 石巻市中央一丁目14・15番地区市街地再開発事業における仙台検察審査会への不服申し入れについて

②齋藤 澄子

- 1 人口減少対策と子育て支援について
- 2 復興状況の認識について
- 3 地元基幹産業の活性化について

③遠藤 宏昭

- 1 石巻市立病院の現状と今後の見通しについて
- 2 石巻市役所1階の利活用について

④佐藤 雄一

- 1 新生児の聴力検査、手話言語条例について
- 2 喜ばれる敬老会について
- 3 側溝清掃・環境美化について
- 4 河南地区の諸課題について

⑤阿部 和芳

- 1 市長の政治姿勢について

⑥森山 行輝

- 1 市内各施設の整備状況について

⑦星 雅俊

- 1 「子育てしやすいまちづくり」について
- 2 「高齢者の暮らしやすいまちづくり」について
- 3 「地域経済の活性化」と「市行財政改革」について

⑧奥山 浩幸

- 1 復興後を見据えた街づくりについて

⑨阿部 浩章

- 1 水産振興策（養殖ホタテ）について
- 2 投票率向上について
- 3 沿岸・半島部の復興事業について

⑩千葉 正幸

- 1 放課後児童クラブについて
- 2 イノシシの被害状況と今後の対策について
- 3 雄勝地域の野球グラウンドの復活について
- 4 桃生道の駅について

⑪高橋 憲悦

- 1 地域の灯り（光）を消さないための諸施策（その2）について

⑫千葉 眞良

- 1 在宅被災者について
- 2 津波浸水区域における雑草の処理について
- 3 湊の諸課題について
- 4 人事課題について

⑬水澤 富士江

- 1 高齢化が進む市中心部に、スーパーマーケットの設置を
- 2 放射能汚染廃棄物の焼却、埋め立てについて
- 3 女川原発2号機再稼動問題について

⑭山口 莊一郎

- 1 人を育てる教育組織とは

⑮阿部 正敏

- 1 半島部高台移転後の現状について
- 2 半島部における公共交通網について
- 3 水産業並びに魚市場、水産加工業関連について

⑯櫻田 誠子

- 1 選挙の投票について
- 2 子どもの歯の健康について
- 3 子どもの安全対策と健やかな育成について

⑰西條 正昭

- 1 半島沿岸部の低平地事業・漁業集落機能強化事業の進捗状況と今後の見通しについて
- 2 県道北上河北線の整備について
- 3 地域の宝・北限のオリーブ栽培について
- 4 北上地区の諸課題について

⑱後藤 兼位

- 1 復旧・復興加速の課題と行財政運営について

⑲楯石 光弘

- 1 健康づくり推進策について
- 2 食育の推進と家庭教育支援について



黒須 光男 議員

・亀山市長を告発した件について

問 新蛇田地区公募型買取市営住宅は、プロポーザル方式（公募提案型で図面や金額を提示して業者が選ばれること）で大和ハウス工業が43億8千万円で買取額を決定した。「応募要領」ではプロポーザル方式により買取額が決定された場合、買取価格は決定された金額を超えてはならないと明記されているが、そのような認識で誤りはないか。

答 復興事業部長「議員のおっしゃるとおりです」

問 ところで本件の買取価格は、プロポーザル方式で決まった買取額よりも3億4千万円が水増しされており、「応募要領」に違反する違法行為ではないのか。

答 総務部長「事務手続きの不備でそのようなものであり、本件は刑事告発がなされ捜査の関係もあるのでこれ以上の答弁は控えたい」

問 当局は、プロポーザル方式の選定委員会での意見を取り入れ設計変更し、3億4千万円が増額されたことですが、選定委員会での権限は、業者を選定するだけのもので当日の議事録でも明らかです。改めてプロポーザルの意義を問いたい。

答 佐藤副市長「不正を疑われる事案である。高額な国の金を『不備があった』『決裁の手続を怠った』で片付けてよいのか。分限懲戒審査会で調査したい」

主張 亀山市長を背任罪で追い込むことが出来た。「悪の断層」の壁（ひだ）に隠されている権力者をこれ以上のうのうと眠らせる訳にはいかない。それが石巻再生への道だと確信する。市民の皆さんも一緒に立ち上がったほしい。



齋藤 澄子 議員

・人口減少対策と子育て支援について

問 子どものインフルエンザ予防接種への助成、給食費の負担軽減、高校卒業までの医療費免除を。放課後児童クラブでの長期休暇中の待機児童への対応は。

答 インフルエンザ予防接種は、国の「定期接種」に位置づけられるか注視していきたい。子ども医療費の高校生までの拡充は、子ども支援策全体の中で考えたい。給食費助成は、市の財政状況を考えると慎重にならざるを得ない。放課後児童クラブについては、増設や民間との協力を考えたい。

・復興状況の認識について

問 ①災害公営住宅集会所利用への不満について。②石巻市浸水区域被災住宅補助事業の使い勝手の悪さについて。③湊地区でのまちづくりにより独自の計画がないか。④交通対策の充実について。

答 ①集会所利用は、団地会に任せている。②石巻市浸水区域被災住宅補助事業、事前相談が743件に対し、申請は78件であり、想定よりも申請に時間を要している。③土地区画整理事業を東西で398号の拡幅工事、企業誘致の整備などの報告。④交通対策は、市民意向調査で検討する。

・地元基幹産業の活性化について

問 石巻の基幹的な産業である水産加工業の中で深刻な人手不足が起きている。それに対して市はどのように認識しているのか。石巻市シルバー人材センターの活用や、求職者の要望に応える紹介を行政でサポートしていただくように。

答 石巻市シルバー人材センターでは、週20時間内の派遣就業業務を実施しており、水産加工業の人手不足の解消に向けた方策の一つとなるよう、同センターと連携していく。



遠藤 宏昭 議員

・石巻市立病院の現状と今後の見通し

問 開院してから本年5月末までの患者数の推移について伺う。

答 外来患者数は1日当たり93人から136人、入院患者数は85人から120人と確実に増えている。

問 市民にとって身近な病院になりつつある。新設された「眼科」「耳鼻咽喉科」は、医師の確保・診療は順調に行われているか。

答 医師については、東北大学病院から応援をいただき、週2回の診療を行っている。

問 市民から要望のある「皮膚科」の開設に向けては準備も含めて見通しはいかがか。

答 医師の確保に向けて関係機関へ働きかけを行い、開設できるように努力する。

問 「産科」「小児科」の開設は、出生数の減少・全国的な医師不足を背景に、地域の中核病院（石巻赤十字病院）に対する医師の集中的な派遣が行われているため、非常に困難な状況であると認識している。厳しいのではないか。

答 石巻赤十字病院のサポート病院としての役割を担う。時期が来たら市民へ説明をする。

・石巻市役所1階の利活用について

問 現在、市役所本庁舎としては執務室や会議室が不足しているが、庁舎外に民間事業者から賃貸借している物件（不足分）は何力所あるのか。14の既存テナントを除く1階部分を行政庁舎として活用すべき。

答 太陽生命ビルなど3カ所借りている。方向転換も選択肢のひとつ。



佐藤 雄一 議員

・新生児の聴力検査と手話言語条例について

問 全国平均6割の受検率と聞く。当市の状況を伺う。また、手話言語条例について伺う。

答 当市では9割近い新生児が聴覚検査を受けている。また、『手話言語条例』自体は当市に無いが、それも含まれる『石巻市障害のある人もない人も共に安心して暮らせる福祉のまちづくり条例』が本年4月から始まった。

・喜ばれる敬老会について

問 敬老会の出席率が低い。式典形式の敬老会は廃止して、この分の予算を地域にまかせてみる等、工夫してはどうか。

答 敬老会への出席率は例年8%程度。アンケートで今後の見直しについて検討する。子育て世代を支援する予算に回したほうが、という意見もある。

・側溝清掃・環境美化について

問 側溝清掃の報奨金はどのような内容か。

答 町内会等を対象に、1回5千円、年に1万円まで。使用用途は特に限定していない。

・河南地区の諸課題について

問 稲わらの件、最新の情報を伺う。

答 10月を目前に試験焼却を開始したい。また、正しい知識の普及を目的とした専門機関による講演会を8月に開催する予定。



阿部 和芳 議員

・市長の政治姿勢について

問 内海橋をわたり湊、鹿妻、渡波地区、荻浜地区、牡鹿地区等の遅れにより人口減少は著しく集積機能も劣っている。バランスの取れた復興事業を行うべき。現場で市民と直接に接する場面は応援職員となつて、市民に寄り添っていない。総合支所や支所職員を活用する。職員のやる気は、賞罰を厳格に行う事が大切だ。リーダーとして是非、職員のやる気を覚醒させ市民と行政が協働のまちづくりにするべきだ。そこで「子育て環境の充実」が不可欠で教育を全体的に捉えるべき。学力向上策など具体策を講じるべきだ。放課後児童クラブの全施設等の現場を見てはどうか。

答 実施していく。

問 大川小学校問題は、これまで解決するチャンスはいくらでもあったはずで負の連鎖が拍車を掛けた事後対応の悪さが招いた結果だ。

答 適切に対応した。

問 教育長も、遺族をすべて回らない。棄却された場合の市長の責任論をどうとるか。

答 政治を辞めることではない。選挙で公約したことを絶対まもる。

問 キーワードは持続可能だ。東松島市が「未来都市」に選ばれた。持続可能にするには、財政問題が重くのし掛かる。指定管理の在り方や組織改編など行財政改革し、まずは石巻市議会議員の定数を削減し進んでいく覚悟だ。



森山 行輝 議員

・市内各施設の整備状況について

問 仮設住宅が建てられ使用できない野球場水押し場・追波川河川野球場・押切沼野球場の使用はいつ頃になるのか。水押し場の駐車場確保、河南球場、桃生球場の整備方針、南浜の野球場の開設時期、市民球場のネーミングライツ、広告募集、陸上競技場の開設時期について伺う。

答 各野球場の使用時期は平成32年度に入ってから、河南球場の整備については、本年度電光掲示板、一塁側の防球ネット整備、テニスコートの駐車場化、球場内のラバーの塗装については整備を進めていく。

南浜については、全体計画より早めて使用できるように努力する。市民球場のネーミングライツ、企業の広告については、多額の支援をいただいているメジャーリーグベースボール機構の意向を踏まえ、現時点では難しい。

今後、総合運動公園について、陸上競技場の整備が完了した後、公園全体としての導入について検討を進めていく。

陸上競技場については、仮設住宅が完全撤去後、工事着手に入れるよう準備をしていく。グレードとしては、4種公認の競技場を考えていく。石巻市の施設として固定しないで、管内にとどまらず、広く各自自治体に呼びかけて、予算の協力をいただき、施設を充実させ、より良い活用ができるような施設整備を目指していく。



星 雅俊 議員

・子育てしやすいまちづくり

問 87人の放課後児童クラブの待機児童の対策。また、クラブ指導員の資質の向上やサポート体制として、研修や巡回指導員の設置、主任制が必須ではないか。また、21人の保育所の待機児童数ゼロにするための対策を伺う。

答 クラブは、渡波・広瀬・二俣地区に専用教室を新設する。研修は、今年度実施し、巡回指導員、主任制は、検討を急ぎたい。

保育所は、旧仮設渡波保育所（民間）の開設。本年度開設の3保育施設定員増で解消の見込み。

・高齢者の暮らしやすいまちづくり

問 高齢者の生活課題を把握する必要があるのではないか。買物弱者対策の検討状況は。

答 生活課題を抽出や交通の市民意識調査を7月に実施。

・地域経済活性化と市行財政改革について

問 地元業者の受注機会拡大のため日本下水道事業団と市の公共工事の分離・分割発注の推進が必須では。

答 事業団は、電気、機械で共同企業体に地元企業の参加を可能とした。

市発注工事は、分離・分割発注を実施している。まちづくりには、財政基盤の確保が重要。

平成32年度以降の経済状況をどの様に見ているのか。

民間委託事業に3年〜4年の遅れがある。なぜか。

答 市政状況は、今後悪化する見通し。民間委託事業の遅れは、マンパワー不足等が原因。今後確実な取り組みを進める。



奥山 浩幸 議員

・復興後を見据えた街づくりについて

問 震災以降、甚大な被害からの復旧・復興に関する経費は、国の特例的な制度や支援を最大限活用してきた。今後の財政運営は、市政に求められる諸課題の解決や、今後の市勢の発展に向けた施策の重点的な予算配分が必要である。資源を有効活用するため、「政策効果やニースが低下した事業は徹底して削減」し、政策効果の高い事業に資源を重点化すべきと考えるが。

答 国の補助金を活用しながら、歳入に見合った適正な予算を編成していく。

事業効果の検証を行い、事業効果のないものは見直しをしていく。

問 平成33年度以降の国の財政支援の動向や、国の地方財政対策をめぐる議論の状況によっては、財政状況の急激な悪化を招きかねない。地方交付税などの先行きは不透明であるが、歳入確保を目指し、できる限りの自主財源確保が必要と考えるが。

答 市税の確保が重要と考える。地方税法上の基準・条例に基づいて対応し、歳出を少なくしていく。また、国の支援等ができるだけ活用し取り組む。



▲陸上競技場の早期建設、スポーツを活かした街づくりを推進します。



阿部 浩章 議員

・水産振興策養殖ホタテについて

問 養殖ホタテの貝毒長期化に伴う対策等について伺う。

答 麻痺性貝毒が、これまでにない規模で広域的にまん延し、ホタテ養殖漁業者は非常に苦しい状況にあるものと認識している。厳しい状況を少しでも救済できるよう、宮城県、宮城県漁業協同組合と連携し、早急に必要な支援策を検討する。

問 養殖ホタテの水揚げ数量減少の原因究明について伺う。

答 平成29年度は1400トンの生産量に留まり、平成28年度の約半分に落ち込んでいる。斃死（へいし）の原因はいまだ解明できていない。貝毒の発生も含め有効な対策を行うためには、原因究明は必要であり宮城県水産技術総合センターを有する宮城県に対して要望していく。

・投票率向上について

問 期日前投票の充実について伺う。

答 今回の市議選では、17カ所で開設しているが、今後とも必要に応じて開設場所の検討を進めていく。

問 高齢者や障がい者対策について、移動期日前投票所の考え方について伺う。

答 投票所が来る、すぐそこにあるということが理想と考えることから、移動式の期日前投票などが有効であると考える課題や問題を解決し実現に向け努力していく。

・沿岸・半島部の復興事業について

問 漁集、低平地事業の区域外の買取地の利活用の考え方について伺う。

答 現時点での具体的な土地利用は定まっていない。ガレキ撤去等の最低限の条件整備を行い、地元の見解や意向を踏まえた上で貸し付けや売り払いを行うことで民間の利活用を図っていく。



千葉 正幸 議員

・放課後児童クラブ利用時間の延長について

問 保護者の転勤により、送迎が間に合わないので、居住地に近い学校から保護者の勤務場所に近い学校への転校が余儀なくされている。終了時間の延長ができないか。

答 指導員の体制を整えて、対応していく。

・放課後児童クラブ指導員の処遇改善について

問 慢性的指導員不足は処遇が良くないのではないかと。人事異動があつて通勤手当がない。支給する考えはないか。

答 週29時間未満のパート職員は、通勤手当が該当しない。

・イノシシの被害状況と今後の対策について

問 イノシシの目撃情報から繁殖力旺盛なイノシシの農作物被害が心配される。被害状況と対策は。

答 被害は河北地区で1件、5月11日より猟友会に対し、捕獲許可を発行し捕獲できる体制を整えた。

・雄勝地域の野球グラウンドの復活について

問 地域の中核年代による600歳野球大会などが地域コミュニティの醸成を担っていたが、震災により野球グラウンドが消失した。雄勝の元気を取り戻すためにもグラウンドの復活を。

答 低平地等の、防集元地未利用買取地等の活用を検討する。

・桃生道の駅について

問 市長公約の実施に対する関係部長・総合支所長の理解は。

答 市長が市政運営における重点施策として掲げる必要な事業。復興政策部が関係課の調整役となる。



高橋 憲悦 議員

・「地域の灯り(光)を消さないための諸施策」(その2)について

問 ①地域負担となつている防犯灯の維持管理を軽減するための調査・検討結果について。

答 (経過) 少子高齢化や過疎化が進む中、地域を照らし続けている防犯灯の維持管理は、町内会等の地元負担で対応してきた。

しかし、町内会の維持運営に四苦八苦している現在、防犯灯の地元負担は、町内会等の運営に重くのしかかっている。一地区当たり平均で年間10万円になつており、その捻出に地元では大変苦慮している。そのことを踏まえて前回一般質問を行い、市長から検討するとの前向きな答弁があり、今回は、その確認と実現される時期について伺いました。

②地域自治システムの推進について。③復興期間終了後の平成33年度以降の行財政運営について。

答 ①調査の結果、地域・地元で負担の防犯灯の数は、1963灯存在し、LED化を含め市が維持管理するよう早期に実現する。来年4月から地元負担が解消できるよう努力する。

②地域課題の解決に向け、地域を良く知る地域住民が主体的に取り組めるよう構築を図る。

③人口減少傾向や地域経済動向など、市税等の歳入状況を注視し、歳出抑制を基本に本市の財政状況に見合った予算編成を行い、将来に負担を回さない財政運営に努める。



千葉 眞良 議員

・在宅被災者について

問 津波浸水区域被災住宅小規模補修補助金交付事業の実績と課題について伺う。

答 この事業は、本年4月10日より事前相談を開始し、5月1日より申請を受け付けしている。実績としては、6月15日現在、申請は78件だが電話による問い合わせは1038件、事前相談は743件であり、この事前相談のほとんどが申請に繋がるものと考えている。

課題としては、事業の利用促進を図る必要があるため、本事業に該当すると思われる世帯で問い合わせや事前相談に結びついていない世帯に対して、自立生活支援員の訪問による事業概要の説明等を行っているところである。

今後については、その利用促進のため丁寧な相談支援に努め、被災住宅を補修しきれない在宅被災者等の支援策として、早期の住環境の改善に取り組んでいきたいと考えている。

・湊の諸課題について

問 旧みなと荘の現状と今後の課題について伺う。

答 現在、旧みなと荘は仮設入居者や復興住宅に入居した被災者への復興支援事業の拠点として平成27年度から使用している。

なお、旧みなと荘については、貸付期間が終了した後に解体することになっている。

また、今後の課題としては、解体後の土地の利活用について、関係部署と協議をしていきたいと考えている。



水澤富士江 議員

・高齢化が進む市中心部にスーパーマーケットの設置を

問 中心部（山の手、中央、石巻駅前地区等）の高齢化率について。

答 山の手35・8%、中央42・5%、駅前34・6%で、本市の平均31・8%を上回る。

問 エスタ跡地の開店の可能性と入札不調の場合の対応について。

答 昨年12月に庁舎一階のメインテナントの募集は残念ながら不調となった。再公募にあたり事業者5者からヒアリングを実施。契約期間を20年間にするなど事業者が参加しやすくしたので申し込みの可能性はある。入札不調となった場合は、個別交渉による誘致もし、商業スペースとして活用する。

・女川原発再稼働問題について

問 規制委員会の指摘により安全対策工事の追加が必要となり、完了目標が本年後半から2020年に見直された。今後のスケジュールはどのようになるか。

答 他県の事例を見ると規制委員会による審査会合説明終了後、経済産業大臣より再稼働について立地県に地元同意の要請があり、国による住民説明会、立地市町村長、議会、県議会での同意の可否を経る。

現在、石巻市の避難計画の実効性は4割程度。また、安全対策工事が完了する前にも地元同意を求められることも考えられる。



山口荘一郎 議員

問 児童生徒一人ひとりにきめ細かな教育を行うべく、チームティーチングを強化すべき。

答 平成32年度で引上げの可能性がある復興加配53人の教員を、チームティーチング等に対する「指導方法工夫加配」へ切り替えよう求めていく。

問 国で新設された業務アシスタント（コピーや簡単な丸つけなどの手伝い）の補助申請を行わなかった宮城県に対して、市の考え方をまとめ、配置を求めるべき。

答 教員でしかできない業務、教員でなくともできる業務のふり分けを検討し、総合的な考えで、教員が児童生徒に向き合える時間を作るよう考える。

問 教員が適切な防災知識を持つために、防災士の資格取得支援を計画的に行うべき。

答 地域の防災拠点となりうる学校の教職員も取得支援の対象とする。

問 学区再編計画（素案）の今後の進め方は。

答 現時点で石巻市全体の取りまとめは難しいと判断した。地域毎の意見を取りまとめ、今年度内で計画を策定していく。今後のスケジュールを関係保護者等に周知し、早期統合を望むところは個別に協議していく。

問 統合を単なる数合わせにせず、義務教育学校、コミュニティスクール等様々な視点で保護者、地域との合意形成に努めるべき。

答 地域の意見を踏まえて進めていく。地域の特色に応じた形で何ができるのかを考えなければならぬ時期に来ている。



阿部 正敏 議員

問 復興住宅の入居状況について。

答 牡鹿町の復興公営住宅整備戸数148戸、本年5月現在144戸で97%。

問 入居者の多くの方から孤独感を感じて寂しいと聞く。空き地などを利用して草花や畑などの地域住民に開放して皆が集まれる場を作ってはどうか。

答 地域の方々と相談して対応したい。

問 公園に遊具が欲しいとの要望が多いので実現してほしい。

答 地域の方々と相談して遊具の管理などについて話し合い予算措置を含め迅速に対応する。

問 渡波鮎川線路線バスについて乗車率が非常に悪く乗車賃も高いので利用者は少ない。高齢化に備え市立病院や石巻赤十字病院まで直通で行けるようにしてほしい。

答 路線バスは国県から予算が投入されているので廃線にして住民バスを運行すると単独予算での運行になるので厳しい。

問 北上、雄勝は住民バスが石巻赤十字病院まで運行されているが牡鹿町だけが旧町のままでの運行であり不公平である。

答 いつまでもこのままではいけないので対応を考えた。

要望 合併して12年が過ぎ旧町との格差が大き過ぎる。震災後、半島部は一気に高齢化が進んでいる。不慮の事故が起こらないうちに早急に対応すべき。

問 市場背後地企業の生産数量50%しか回復していない。多額の設備投資をして再開したが魚の高騰、人材難、売上の低迷など死活問題。基幹産業復活なくして石巻経済の復活なし。市が先頭になって関係者との協議を急ぐべき。

答 水産庁への職員派遣の要望も含め事態打開に早急に対応したい。



櫻田 誠子 議員

・選挙の投票について

問 震災後投票所が遠くて行けないとの苦情があるが区割りの見直しが必要ではないか。

答 期日前投票が3割となったが投票率は過去最低となった。投票所の土足可や区切りの見直し等も図り改善に努めたい。

問 期日前投票所の増設や移動投票所等開設すべきでは。

答 移動投票所の実現に向け取り組んでいく。

・子どもの歯の健康について

問 学校等での歯科検診での結果が治療に結びついていないという現状について伺う。

答 今後早期に治療に結びつくよう学校でも治療への勧奨と診療実態の把握に努める。

問 障がい児・者の歯科診療が好評で、診療予約に2・3カ月要すとの苦情がある。

答 昨年の12月からの診療で今後の推移を注視し、ご協力いただいている先生方と協議したい。

・子どもの安全対策と健やかな育成について

問 子どもを巻き込む事件が相次いでいる。通学路の死角となる場所等を調査し対応すべき。

答 子ども1110番。不審者メールや防犯ブザーの再確認。自分を守るための訓練と街路灯の整備等登下校時の安全確保に努める。

問 ブロック塀の倒壊で重大事故が発生した。

答 学校、公共施設の状態、通学路等のブロック塀を早期に調査し安全対策を講じる。

問 当市での児童虐待の現状について伺う。

答 市の対応は児童相談所と合わせて153件であり関係機関と連携している。学校や保育所からの通報もある。おかしいと感じたら迷わず189番や市役所へ連絡して欲しい。子どもたちの命の重さを深甚に受け止め早期発見、迅速な対応に努め連携強化して守っていく。



西條 正昭 議員

・半島沿岸部の低平地事業・漁業集落機能強化事業の進捗状況と見直しについて

問 盛土や草木が生い茂り荒地化している所、また残地の利活用等について伺う。

答 地盤かさ上げをはじめ、集落道や排水路の整備を行っている。市有地は地元の見解や意向を踏まえ有効的な利活用を図っていく。

・県道北上河北線の整備について

問 本路線は北上河北にとっては必要不可欠な道路である。早急に整備すべきと考えるが伺う。

答 宮城県でも路線の重要性は十分認識している。市としては、今後も早期事業化に向け、異に粘り強く働きかけていく。

・地域の宝・北限のオリブ栽培について

問 6月2日北上地区で植樹祭があり、これから1500本に達する。今後の事業展開を伺う。

答 今後、成分分析で良い結果が得られれば、商品化の実証や6次産業化も視野に商品開発の検討及び実証を進めていく。

・北上地区の諸課題について

問 にっこりサンパークから女川地区への道路整備について伺う。

答 応急的な道路整備をし、並行して総合計画に盛り込めるように協議する。

問 危険区域に指定された急傾斜地の整備について伺う。

答 長尾下沢地区工事終了後は、候補地となっている崎山、小滝地区の早期着工に向け、県へ要望していく。

問 相川保育所 相川子育て支援センターの園庭拡張整備について伺う。

答 設置基準を満たしており、現時点で園庭整備は予定していない。

問 女川上田地区の地盤沈下した水田の整備について伺う。

答 排水不良対策の整備は、地元の意向を伺いながら指導助言していく。



後藤 兼位 議員

・復旧・復興加速の課題と行財政運営について

問 今後、市税確保のためにも、入札制度の見直しと地元企業への発注を推進すべきだ。

答 復興の進捗によりいづれ工事の発注件数が減少するものと考えられる。地元発注については今後関係部で考えていかなければならない。

主張 阪神淡路大震災の時も復興事業終了とともに、地元企業の倒産が顕著だった。市税確保と雇用確保対策のためにも、人、物、金が動く経済財政運営が必要であり地元活性化の視点からも地元発注を推進すべきだ。

問 蛇田排水ポンプ場の早期建設と中ノ堀下水路の整備について

答 蛇田排水ポンプ場は、現在、土木躯体工事を進めている。平成31年度末の供用開始を目指し施工している。

問 中ノ堀下水路の整備を急ぐべきだ。

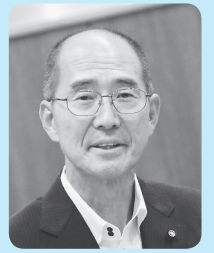
答 ポンプ場の性能を十分に発揮させるには不可欠な事業だ。下水路の整備計画を策定したい。

問 みずほ幼稚園側の上流部、水路未整備箇所は水路幅が狭いので、道路整備として進めるべきだ。

答 指摘の上流部については、水路幅は道路側溝程度で済むので、道路幅員が狭い箇所を道路整備として交付金活用できるか考える。

問 地元への説明、理解はどのように考えているのか伺う。

答 下水路と道路を一体的に整備することにより、交通体系が変化すると思われるので計画策定時に説明会を行い地元の意見を取り入れ、利便性の良い形で整備を進める。



楯石 光弘 議員

復興マラソン開会式で聖火台へ点火したのは昨年年代別世界記録をつくった82歳の中野陽子さん。70歳からマラソンを始め目標は3年後の世界大会で楽しく走る事。

・健康づくり推進策について

問 自覚症状なく糖尿病リスク6倍等、本市のメタボ率、全国一位クラス、報道での「石巻圏メタボ深刻化」への所感と改善策は。

答 大変厳しい結果で特に働き盛りの世代が課題。データヘルス計画に基づき改善したい。

問 最近、やせメタボもメタボと同じくらいリスクがあるとの発表、その認識は。

答 メタボ以外として認識し、今後も重症化予防事業として連携して改善指導する。

問 本市の健康ポイントは国保、四・五十代限定で広く一般市民への波及効果が低い。ポイントを保育所等へ寄付も出来、商品券等とも交換できる「いのまきチャレンジ元氣ポイント」を提案したい。健康づくり予算は経費でなく未来への投資。

答 2年目となるポイント事業を改善しながら、今後広く検討したい。

問 子どもからお年寄りまで気軽に安全に活用できる公園、遊具等の整備は。

答 町内会等伺い、健康遊具の導入も進める。

問 河南パークゴルフ場、今後の差別化対策は。

答 多彩なイベント、芝の質向上等努力する。

・食育の推進と家庭教育支援について

問 食育・家庭教育の意義と必要性は。

答 食の基本は家庭にあり乳幼児期が特に大切。

石巻市議会豆知識



Q 一般質問とは？

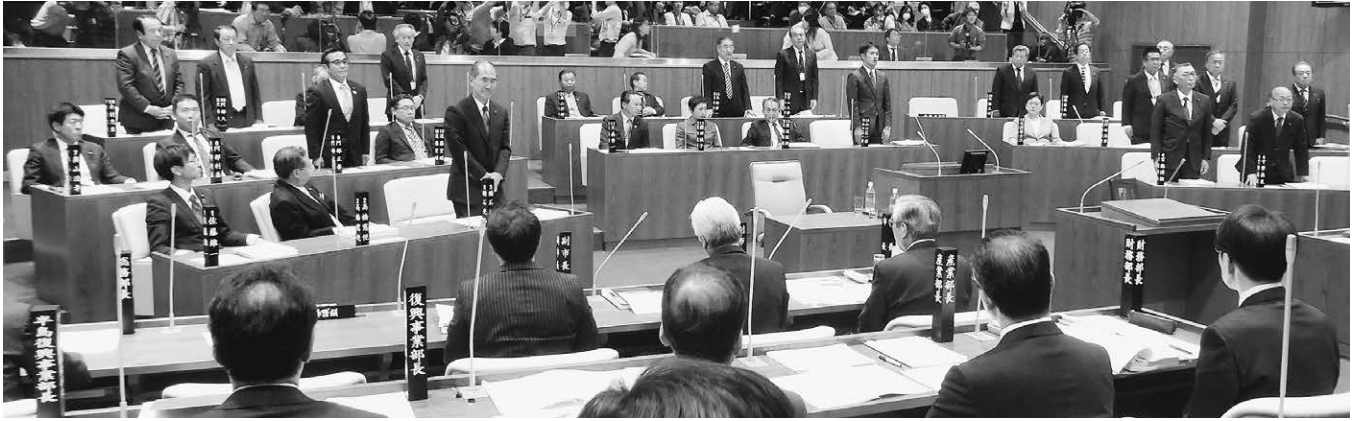
A 議員が特定の議案とは関係なく当該団体の行政事務全般について、執行機関の見解を求めることです。

「新規採用職員研修」

6月27日、石巻市新規採用職員が研修の一環として第2回定例会を傍聴しました。



第1回臨時会（平成30年5月8日開催）
提出された議案と審議結果及び緊急質問



▲起立採決の様子

各議員の起立採決による賛否

議席番号	氏名	第109号議案 第110号議案	平成30年度一般会計 補正予算(第2号) 訴えの提起について
1	佐藤 雄一		×
2	高橋 憲悦		×
3	楯石 光弘		○
4	首藤 博敏		○
5	千葉 眞良		○
6	丹野 清		—
7	奥山 浩幸		×
8	阿部 利基		×
9	阿部 正春		○
10	遠藤 宏昭		×
11	大森 秀一		×
12	櫻田 誠子		×
13	渡辺 拓朗		×
14	山口 荘一郎		○
15	水澤 富士江		×
16	阿部 浩章		○
17	阿部 正敏		○
18	近藤 孝		○
19	木村 忠良		○
20	阿部 久一		○
21	安倍 太郎		×
22	阿部 欽一郎		○
23	森山 行輝		×
24	伊藤 啓二		×
25	高橋 栄一		○
26	青山 久栄		○
27	庄司 慈明		欠
28	西條 正昭		○
29	後藤 兼位		○
30	千田 直人		○
賛 成			16
反 対			12
欠 席			1

※ ○：賛成、×：反対、欠：欠席
※ 丹野清議員は議長であるため採決には加わりません。

平成30年第1回臨時会が、5月8日に開催されました。
臨時会では、2人の議員から緊急質問の通告があり、議案審議に先立ち、通告順に緊急質問を行いました。
緊急質問の後、提案された2議案について、関連があるため一括で審議を行い、水澤富士江議員、森山行輝議員がそれぞれ議案に反対の立場から阿部正春議員、山口荘一郎議員がそれぞれ賛成の立場から討論を行いました。
提案された2議案は、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。
なお、緊急質問の要旨は、質問を行った議員自らが記事の編集を行い、次のページに掲載しています。

議案の内容

東日本大震災における大川小学校事故に係る国家賠償等請求控訴事件について、本年4月26日に第2審判決が言い渡され、その内容について慎重に検討したところ、本判決は本市として受け入れられる内容のものではなく、更に上級審の判断を仰ぎたいと判断したことから、民事訴訟法第311条及び第318条の規定に基づき、最高裁判所に上告及び上告受理の申立てをするため、地方自治法第96条第1項第12号の規定に基づき議決を求めたもの。
補正予算は、その上告手続に要する経費を措置したものである。

予 算（原案可決）

・平成30年度石巻市一般会計補正予算(第2号)

そ の 他

（承認）
・専決処分の報告並びにその承認を求めることについて 7件
（原案可決）
・訴えの提起について

阿部 利基 議員

・学校防災のあり方について

問 本判決を受けて、メディアにおいて、今後の学校防災の教訓にしたいと言う趣旨の発言を市長はされているが、具体でどのように反映していくのか。

答 すでに様々にやっているが、なお力を入れていきたい。

意見 学校保健安全法26条の災害の規定からいって、東日本大震災は規模が想定外だから、安全法の外にあるという主張は無理があるように私は感じる。

・賠償金と財政について

問 賠償金のシミュレートは済んでいるのか。仮に遺族側へ支払うとなつたらどうなるのか。

答 県と協議だが、現在のところ協議もシミュレートもしていないが、過去の判例から県側に負担を求めるのは無理があると感じる。

問 最高裁に上告しても財源の問題にはぶち当たる。市の将来を見据えて備えるべきとかねてから訴えてきたが、いまだに備えていないことは大変嘆かわしい。財政調整基金も減少している状況で、仮に最高裁で敗訴した場合、自治体として身動きが取れなくなるのではないか。

答 行政改革などで対応したい。

意見 備えておかないとどうしようもない案件で備えていないことは、この場にいる全員が責任を感じるべき案件である。今日からでもすぐに取り掛かるべき。

・リスクについて

問 上告を決めたのは市長なのか、庁議で決めたのか。

答 代理人弁護士の見意見を踏まえ、市長自身が決めた。

高橋 憲悦 議員

・大川小津波訴訟判決について

問 ①第一審の地裁判決と第二審高裁判決ともに石巻市が敗訴。今回の高裁判決に関する市長の所見は。

② 4月26日判決が言い渡され、訴えの提起を決定するに至った経緯経過と精査内容について。

③ 本件訴訟に関し、平成26年5月12日裁判所に、「石巻市は、本件事故が天災であることを主張する」と申し出たが、現在も認識に変わりないのか。

④ 当該問題の解決無くして「真の石巻市の復興はない」と市民そして全国的にも注目されている。高裁の判決を受け入れるべきとの世論の中、控訴する理由を具体的に、市民への説明責任を果たされるのか。

答 受け入れられず、上級審の判断を仰ぎたい。

石巻市議会豆知識

Q 臨時会はどんな時に開かれるの？

A 臨時会は、突発的の事情等により次の定例会を待つことが出来ない案件が生じた際に、当該事件の審議のため開かれます。



石巻市議会

『第23回議場コンサート』

市議会では、市民の皆様に、議会活動への理解を深めていただくために、議場コンサートを開催いたします。

※当日は、午後1時から、第3回定例会本会議が行われる予定ですので、ぜひこの機会に併せて傍聴してください。

と き 9月6日(木) 第3回定例会初日
午後0時20分～午後0時40分
ところ 石巻市議会議場
出演者 萌江&LIBOO (ポップスユニット)
入場料 無料

議会を傍聴してみませんか？

本市議会の様子は、議会開会中はどなたでも傍聴することができます。ぜひ、お気軽にお越しください。

車いすや団体での傍聴を希望する場合は、事前に議会事務局へご連絡ください。

本会議の開会時刻は、原則初日は午後1時、2日日以降は午前10時となっておりますが、議会運営上時刻が変更になる場合がございます。

ご不明な点等がございましたら、議会事務局へお問い合わせください。

平成29年度 政務活動費執行状況

会派名	人数	交付額	研究 研修費	調査費	資料費	広報 広聴費	人件費	要請・ 陳情 活動費	その他 経費	支出計	残額
ニュー石巻	13	4,650,000		4,464,702					15,730	4,480,432	169,568
石巻復興の会	6	2,130,000		2,266,938						2,266,938	△ 136,938
創生会	5	1,800,000	75,756	1,428,307	129,600	99,360				1,733,023	66,977
公明会	3	1,080,000		860,267	103,243					963,510	116,490
日本共産党 石巻市議団	2	720,000	46,460		29,372					75,832	644,168
無会派 丹野清議員	1	360,000		156,810					16,200	173,010	186,990

(注1) 残額は市に対して返還済です。また、不足は会派から持ち出しとなっています。

(注2) 議長は、申し合わせにより無会派となります。

(注3) ニュー石巻には、4月に佐藤雄一議員が所属しました。

(注4) 石巻復興の会には、4月に阿部浩章議員が所属しました。

政務活動費とは

政務活動費は、議員の調査研究における必要な経費の一部として、「石巻市議会政務活動費交付条例」に基づき交付されています。交付の対象や方法などは次のとおりとなっています。

交付の対象 会派（1人会派を含む）

交付する額 1人につき、年額36万円（月額30,000円）

交付の方法 年度当初に一括交付

使 途 基 準 下記のとおり

収支報告書 翌年度の4月30日までに提出。領収書（金額に関わらず全ての領収書）等を添付。

※平成29年度分から領収書等の写しをホームページで公開



政務活動費使途基準

研究研修費 会派が研究会、研修会を開催するために必要な経費又は会派の所属する議員等が他の団体の開催する研究会、研修会に参加するために必要な経費

調 査 費 会派が調査研究活動のために必要な先進地調査又は現地調査に要する経費

資 料 費 会派が行う調査研究活動のために必要な資料の作成及び購入に要する経費

広聴広報費 会派が行う調査研究活動、議会活動及び市政について市民への広報に要する経費、会派が市民からの市政及び会派の政策等に対する要望、意見を聴取するための会議等に要する経費

人 件 費 会派が行う調査研究活動を補助する職員を雇用する経費

要請・陳情活動費 会派要請・陳情活動を行うために必要な経費

会 議 費 会派が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費

その他経費 上記以外の経費で会派が行う調査研究活動に必要な経費

5月30日、東京都において、全国市議会議長会第94回定期総会が開催され、次の方々が表彰されました。

◎一般表彰

高橋 栄一 議員
(市議会議員在職15年以上)

阿部 正敏 議員
(市議会議員在職10年以上)

◎感謝状

丹野 清 議員
(全国市議会議長会地方財政委員会委員)



木村忠良議長から表彰状を受け取る高橋栄一議員



阿部正敏議員



丹野清議員

議会録画中継の視聴

定例会の一般質問や臨時会の緊急質問の録画映像を公開しています。

視聴は、下記URLよりご覧ください。

※録画映像をご覧いただくためには、「You Tube」を視聴できる環境が必要になります。

※平成27年第1回定例会の一般質問から公開されています。

※録画映像は、石巻市議会の「公式記録」ではありません。

https://www.youtube.com/channel/UC-aRRNV5ZQ3dVlbXwIhNiow?view_as=subscriber

市議会ホームページ

石巻市のホームページ内に開設しています。議会に関する様々な情報を掲載しています。

議会の日程や「いしのまき市議会だより」で取り上げた内容等についても詳しくご覧いただくことができます。

<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/d0100/index.html>

議会の動き

5月

- 8日 議会運営委員会
第1回臨時会(開会、議案審議等)
- 10日 兵庫県芦屋市議会議長来訪
- 20日 石巻市議会議員選挙
- 23日 兵庫県芦屋市議会行政視察来石

6月

- 6日 第2回臨時会(開会、議長選挙等)
総務企画委員会
環境教育委員会
保健福祉委員会
産業建設委員会
議会運営委員会
- 7日 議会運営委員会
第2回臨時会(議案審議等)
総合防災対策特別委員会
東日本大震災地域コミュニティ再生
特別委員会
人口減少対策特別委員会
議場コンサート実行委員会
広報広聴委員会
議会改革推進会議
- 11日 議会運営委員会
- 12日 総務企画委員会
環境教育委員会
- 13日 保健福祉委員会
産業建設委員会
- 14日 第2回定例会開会(～29日まで)
- 15日 本会議(条例案、予算案審議)



- 19日 総務企画委員会
環境教育委員会
- 20日 保健福祉委員会
産業建設委員会
- 21日 議会運営委員会
広報広聴委員会
- 25日 本会議(一般質問)
- 26日 本会議(一般質問)
- 27日 本会議(一般質問)
- 28日 本会議(一般質問)
- 29日 本会議(一般質問、委員長報告、
追加議案審議、閉会)

7月

- 3日 北海道北広島市議会行政視察来石
- 4日 議場見学(桜坂高校市役所プロジェクト)
- 6日 兵庫県議会行政視察来石
- 9日 創生会行政視察(～11日まで)
東京都稲城市議会行政視察来石
- 10日 愛知県安城市議会行政視察来石
- 17日 兵庫県姫路市議会行政視察来石
- 18日 創生会研修会参加(～20日まで)
石巻復興の会研修会参加(～20日まで)
日本共産党石巻市議団行政視察(～20日まで)
- 宮崎県延岡市議会行政視察来石
- 19日 北海道室蘭市議会行政視察来石
愛知県春日井市議会行政視察来石
- 23日 ニュー石巻行政視察(～26日まで)
- 24日 公明会行政視察(～27日まで)
- 25日 三重県津市議会行政視察来石
静岡県浜松市議会行政視察来石
- 30日 福岡県嘉麻市議会行政視察来石

表紙から



平成30年7月4日に石巻市立桜坂高等学校の3年生が主権者教育として取り組む「市役所プロジェクト」の一環として、議場見学を行い、広報広聴委員会委員長の奥山浩幸議員から本会議や委員会など「議会のしくみ」や「議員の仕事」についての説明を受けました。

説明の際には熱心にメモを取ったり、質問をしたりと真剣に聞かれておりました。

本会議・常任委員会LIVE中継(生中継)

視聴の仕方は、市議会ホームページの

『石巻市議会LIVE中継(生中継)』をご覧ください。

(You Tubeを視聴する環境が必要です。)



※平成30年 第3回定例会の LIVE 中継(生中継)の配信予定は次のとおりです。

日 程	時 間	内 容
9月6日(木)	午後1時～	本会議(開会、提案理由説明)
9月7日(金)	午前10時～	本会議(決算、条例案、予算案等審議)
9月11日(火)	午前10時～	総務企画委員会
9月12日(水)	午前10時～	環境教育委員会
9月13日(木)	午前10時～	保健福祉委員会
9月14日(金)	午前10時～	産業建設委員会
9月20日(木)	午前10時～	本会議(一般質問)
9月21日(金)	午前10時～	本会議(一般質問)
9月25日(火)	午前10時～	本会議(一般質問)
9月26日(水)	午前10時～	本会議(一般質問)
9月27日(木)	午前10時～	本会議(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉会)

編集後記

梅雨の季節から、一足飛びに盛夏の時節を迎えました。

今年度は、再生期から「発展期」へ移行の年であり、復興完結に向けた重要な一年がスタートしました。5月には、任期満了となる市議会議員選挙が行われ、新しい体制となり第2回定例会が開催されました。震災後、住まいの再建などハード事業が中心に行われてきましたが、コミュニティの再生や少子高齢化に伴う人口減少問題も喫緊の課題であり、今後は復興後を見据えた街づくりに向け、議論を深めていかなければいけません。これらに対応すべく市議会では、東日本大震災地域コミュニティ再生特別委員会、人口減少対策特別委員会を立ち上げて、調査・研究しながら、「持続可能な石巻」へ向け議論してまいります。

石巻市議会では、開かれた議会を推進し、市民の負託に応えるため「市民の聲」を拝聴しながら取り組んでまいります。

広報広聴委員会 委員長 奥山浩幸

広報広聴委員会



委員長 奥山浩幸
副委員長 櫻田誠子
委員 佐藤雄一、高橋憲悦、遠藤宏昭、山口荘一郎、青山久栄、後藤兼位、水澤富士江

奥山浩幸
櫻田誠子
佐藤雄一
高橋憲悦
遠藤宏昭
山口荘一郎
青山久栄
後藤兼位
水澤富士江

DATA 市総人口：145,167人【男：70,643人 / 女：74,524人 / 世帯数：61,404世帯(平成30年6月30日現在)】